

地域の話題をお寄せ下さい

美唄通信部

☎(0126)64・4642
FAX(0126)64・4644

百覚

臨地実習

【美唄】美唄聖華高(蓮見知之校長)で8日、戴帽式が行われた。衛生看護科の3年生56人が、看護臨地実習を始めるのにあたりナイスキップなどが授与され、看護の仕事を担当自覚と決意を新たにした。

から来賓や保護者、在校生の入場制限を解除した。

戴帽の儀の後、蓮見校長は式辞で、臨地実習では理解と体験の差を補充しながら取り組むことが重要だとした上で、「医療に携わる看護師の誇りと責任を自覚し、立派な看護師になれるよう日々研さんを」と期待した。

戴帽生を代表して佐藤奈澄紀さんが「臨地実習に行けなかった先輩たちを見てきた分、実際に病院に行つて実習させていただくことは当たり前ではないのだという感謝の気持ちを持つて臨む」と謝辞を述べた。

【末永直樹】

高が栄尚美 感謝状を贈呈

地域貢献の高瀬工業へ

【美唄】美唄尚栄高(升田重樹校長)は7日、同校にプロジェクトを寄贈した高瀬工業(高瀬健秀社長)に市内茶志内IIに感謝状を贈呈した。写真II。

表から花束と記念品も贈られた。高瀬社長は「近年も尚栄高の卒業生を社員として受け入れてお



り、今後も地元企業として地元の高校をできる限り応援していきたい」と話した。

【末永直樹】

郷土史料館で体験講座

燃える石炭に興味津々

【美唄】市郷土史料館で9日、体験講座の「石炭を燃やしてみよう」が開かれた。敷地内に石炭ストーブを設置し、市内の小学3、6年生5人が、実際に石炭が燃える様子を興味深げに見学した。写真II。

【美唄】市郷土史料館で講師を務めた。この日は、参加者が石炭ストーブに十能(小型スコップ)で石炭を投入。蓋を開けて真っ赤に燃える様子を眺めた。「ツヤがある石炭は燃えやすい」との三好さんの説明に興味津々に傾いていた。

ストーブの上で焼いたサツマイモも食べ、普通の焼きいもとは異なる味覚を味わった。東小4年の柴谷竜くんは「石炭が木からできていたことが分かって勉強になった」と話していた。

【末永直樹】



市議会定例会開会

補正予算案など上程

【美唄】第3回市議会定例会が6日開会し、17日間。市長提出の19

件、監査委員提出の監査報告7件、議会から提出する陳情1件が上

程された。11、12日に一般質問が行われる。市長提出の19件は、一般会計で2億165

9万6千円を増額する補正予算案など。農業費として排水機場整備

【黒川雄星】

1周年

黒の2種類、それぞれS・XLサイズまで選べる。受注生産で受

午前11時半〜午後5時で、木・金曜、祝日定休。問い合わせは同

【黒川雄星】

熱中症対策の取

めなければいけない」と述べた。